



教育を支える施設  
University Facilities



教育を支える施設  
University Facilities

## 情報環境機構

ダイナミックに変化する情報環境において、実社会で即戦力となる人材の育成と、情報処理の基礎教育に取り組んでいます。

### 機構が提供するシステムおよびサービス

情報環境機構は学術情報メディアセンターと協働して、京都大学におけるさまざまな教育研究活動を支えるために、高い安全性と利便性を備えた先端的な情報環境を構築・運営しています。

また、同環境を利用し、全学共通科目の語学教育と情報教育に参画しています。

#### ● 教育用コンピュータシステム

教育用コンピュータシステムは、ネットワークに接続されたパーソナルコンピュータ約1,400台を学術情報メディアセンター南館内の演習用マルチメディア教室やCALL教室、サテライト端末室など30カ所に展開しています。それらの一部は利用者がいつでも使える自習用端末として、学術情報メディアセンター北館および南館、附属図書館、吉田南総合図書館内にオープンスペースラボラトリー(OSL)として設置し、運用しています。

これらの端末では、WindowsとLinuxの2系統のオペレーティングシステムが利用可能です。また、オフィスソフトのほかプログラミング、統計処理、数式処理など大学での学習に必要なさまざまなソフトウェアが導入されています。さらに、利用者には電子メールのアカウントが与えられ、WWWブラウザを利用したWebメールシステムにより学内だけでなく、学外からもメールの読み書きが行えます。このようなサービスにより、授業と自習とに統合的な情報環境を提供するとともに、電子メールやWWWを利用したコミュニケーション環境を提供しています。

#### ● CALL / CALL自律学習 / CALL Learning Space

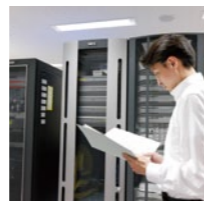
CALL(コール)とは、Computer-Assisted Language Learningの略で、コンピュータを使用した外国語学習を指しています。CALL授業には、「教室学習型CALL」と「自律学習型CALL」があります。「自律学習型CALL」クラスは、学生が大学の自習室や自宅などコンピュータの使用できる環境で、CALL用に開発された電子教材を使用し、時間や場所に拘束されることなく学習することができます。現在、英語だけでなく初修外国語でも自律学習型CALLと教室型CALLを大規模に導入しています。

学術情報メディアセンター南館オープンスペースラボラトリー等には、

「CALL自律学習」を展開しており、語学教材を自習できる端末を設置しています。

また、同じく語学の自習室として、吉田南総合館北棟2階に設けられた「CALL Learning Space」には、ヘッドセットとCALL授業のテキストがインストールされたWindows自習用端末を20台設置し、ティーチング・アシスタントの常時配置で学習を支援しています。

学術情報メディアセンター	
●北館OSLのサービス時間	月～金曜日 10:00～17:00(土日祝日閉館)
●南館OSLのサービス時間	月～金曜日 10:00～20:00
	土曜日 10:00～18:00(日祝日閉館)
	担当: 情報環境機構 教育支援部門



## 図書館

貴重な資料、データベースなど充実した学術情報と、館内施設・設備による学習支援・研究支援を行っています。

### 附属図書館

附属図書館は学習・教育・研究支援機能を持ち、学生、教職員をはじめ、学術情報を必要としている人々に広くサービスを行っています。図書館を学習・研究に活用してもらうために、文献の入手方法やデータベースの利用方法を始めとする講習会、新入生や留学生のためのオリエンテーションなどを実施しています。

京都大学には、附属図書館に約91万冊、全学で約680万冊の蔵書があります。創立より116年にわたる歴史を持つ附属図書館の蔵書には、学習用図書に加え、国宝「今昔物語集 鈴鹿本」をはじめ、古文書資料、特殊文庫、全集もののコレクション等、貴重なものも数多く含まれています。また、電子ジャーナル(約8万タイトル)や電子ブック(約24万タイトル)、データベース(約100種類)なども提供しています。

### 館内の施設・設備等

#### ● ラーニング・commons

組替自由な机やホワイトボード、プロジェクター、電子黒板、大型ディスプレイ、無線LANなどを備えています。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションや展示、イベントなど多様な利用に対応し、学習と表現、そして知的交流を実現する空間です。

また、学習サポートデスクが設置されており、様々な分野の大学院生スタッフが図書館の利用方法や学習に関する相談にお答えします。

#### ● 学習室24

学習室24は、附属図書館が閉館した後も、朝まで勉強できるスペースです。91席の自学自習用のエリアと、41席の飲食・談話ができるエリアがあり、無線LANも利用可能です。また、夜間のセキュリティにも配慮しています。

#### ● その他の施設

「共同研究室」は、グループでの共同研究や学習のための部屋です。大きさの異なる5室があり、人数によって使い分けることができます。ホワイト

ボードやプロジェクターも利用できます。

「サイレント エリア」は、PCや電卓などの使用ができない静かに集中して学習するエリアです。

その他、映像作品や音楽作品を備え、学習・研究やリフレッシュに利用できる「メディア・commons」、院生や教員が使用できる「研究個室」など多様なスペースを備えており、学習や研究のシーンによって活用することができます。

#### ● 学内の図書館・図書室

京都大学には附属図書館のほか、学部や研究所などの図書館・図書室が50近くあります。詳しくは、京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

#### ● 蔵書検索システム(KULINE)

京都大学の所蔵する様々な蔵書や、大学キャンパス内で読むことのできる論文などが、蔵書検索システムKULINE(クライン: Kyoto University Libraries Information Network system)で検索できます。検索ページの入力欄に書名や著者名等のキーワードを入れて検索すると、所蔵している資料の中からキーワードと合致する資料及びその資料を所蔵している図書館・図書室名がわかります。また、学内でデジタル化した国宝・重要文化財をはじめとする貴重資料の閲覧もできます。

<http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



ラーニング・commons  
(Learning Commons)



ラーニング・commonsでの学習風景



附属図書館キャラクター  
「クラちゃん」と「インちゃん」





さらなる飛躍を支援  
Support for Career Development

# 国際交流

## 留学生との交流や、海外への留学を通して相互の教育・研究水準を高めるとともに、国際理解、国際協調の精神を身につける。

留学交流は、相互の教育・研究水準を高めるとともに、国際理解、国際協調の精神の醸成、推進に大きな役割を果たしています。更に、開発途上国の場合はその人材養成に協力するなど、国際貢献のための重要な国策とされています。京都大学では、現在97の国・地域から1,779名の留学生を受け入れ、国際色豊かなキャンパスとなっています。

近年、留学交流の新たなニーズとして、大学に在籍しながら1年以内の期間海外の大学に留学する短期留学が活発化しており、本学においてもこの留学を積極的に支援し、その施策を展開しています。

### 京都大学 国際教育プログラムについて (KUINEP[Kyoto University International Education Program])

このプログラムは、大学間学生交流協定を締結している海外の大学から学部学生を半年もしくは1年間受け入れて本学の学生とともに英語で教育することにより、本学学生の国際性を育成し、留学生との相互交流を活発にすることを目的としたものです。

KUINEP開講科目は21科目(平成26年度予定)で、本学の全学共通科目として提供し、単位を認定します。

#### 工学部地球工学科国際コース

工学部地球工学科では、土木分野における国際的リーダーとなりうる人材の養成を目的とし、多様な国籍の学生が共に学ぶために、全ての授業を英語で受講できる国際コースを2011年4月より開設しました。留学生向けには、一般入試とは別途の選抜試験を行います。一般入試を受験された方も合格後、3月中旬に開催する説明会において、本人の申し出により適性を判断して国際コースへの配属を決定します。本コースは、「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム K.U.PROFILE (Kyoto University Programs for Future International Leaders)」の一環として開設しています。

### 授業料等を不徴収とする 大学間学生交流協定校への 派遣留学(交換留学)について

この制度は、海外の大学との大学間学生交流協定に基づいて本学の学部又は大学院に在籍しつつ、1年以内の1学期又は複数学期、協定校で教育を受けて単位を取得又は研究指導を受けるものです。学内で年2回募集を行い、書類選考及び必要に応じ面接により候補者を決定します。

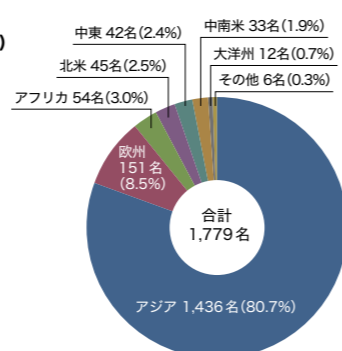
京都大学では23カ国・地域の68大学2大学群と大学間学生交流協定を結んでいます。京都大学を通じて出願手続きができ、留学先では授業料等を支払う必要はありません。

### 派遣留学(交換留学)に関するQ&A

#### Q1：外国語力・学力はどのくらい必要ですか？

多くの協定校では、講義等で使われる言語の検定試験の成績を受入条件として定めていますので、学習、受験してクリアすることが必要です。また、京都大学での学業成績については、学内での派遣候補者選考において、学業成績のより優れた者に協定校への出願権を与える原則となっています。

留学生受け入れ状況  
(平成26年5月1日現在)



#### Q2：派遣留学(交換留学)の準備にはどのくらいの期間がかかりますか？

派遣留学(交換留学)を希望する学生は、おおむね想定する出発時期の1年～1年半ほど前に、所属する学部・研究科を通じて学内選考用の申請書(日本語)を提出することが必要です。協定校が提供する資料の中から、自分の専攻領域に合ったプログラムや履修したい講義を持つ大学を事前に自分で調べてから、学内選考用の書類を提出する必要があります。

派遣留学(交換留学)は、年度により募集日程及び留学可能な協定校に多少変更がありますが、例年2月と7月(二次募集)に学内募集を行います。学内選考を通過した学生は、その後、留学希望先の指定する願書、推薦状、留学目的、履修希望科目を記した書類等を提出することになります。

#### Q3：派遣留学先で取得した単位は、京都大学で認定されますか？

留学先で取得した単位を本学で取得した単位として認める単位認定制度があります。

#### Q4：一募集期に、複数の大学に応募できますか？

第二希望まで選んで学内応募できますが、実際の出願は学内選考・調整により、一校に絞ってもらいます。

#### Q5：大学の情報・資料はどこで入手できますか？

協定校から送られてくる資料は、留学生ラウンジ「きずな」に保存してありますので、自由に閲覧できます。「きずな」にない場合は各校のホームページで確認してください。

#### Q6：派遣留学(交換留学)するための奨学金はありますか？

協定校への派遣留学生を対象とした奨学金として、次の奨学金・助成制度があります。(いずれも、毎年必ず採択がなされるとは限りません。)派遣留学の決定した学生の中から選考されるので、特に応募の必要はありません。

- 1 独立行政法人日本学生支援機構の留学生交流支援制度(短期派遣)：奨学金 月額60,000～100,000円(派遣先地域による)
- 2 京都大学教育研究振興財団からの助成を受けて、京都大学が実施する京都大学「留学派遣」：渡航費の一部助成

### 短期留学プログラムについて

国際交流推進機構では、海外留学促進の一貫として、3ヵ月未満の各種短期留学プログラムを実施しています。大学間学生交流協定に基づく短期留学プログラムや、学部・研究科あるいは研究所等との協力のもと、全学共通科目として提供される国際交流科目をはじめとした様々なプログラムがあります。

東アジアや東南アジア、英語圏を主な派遣先として、授業期間外の8～9月や2～3月に開講されています。少人数での語学研修や現地での講義受講、フィールドワークなど、内容もプログラム毎に多彩なものが企画されています。学生の中には、このプログラムへの参加をきっかけとして、のちの中・長期留学をする例もあります。

### 「留学のススメ」～京大による京大生のための留学説明会～

学生のみなさんに海外留学を身近に感じてもらうため、国際交流センター/国際学生交流課では年間を通して「留学のススメ」と題し、各種説明会を開催しています。主な内容として、交換留学や大学院留学のほか、語学研修、海外インターンシップ、TOEFL対策等があります。教職員や生活協同組合、関係団体に加え、学生組織や実際に留学をした学生等による留学情報満載の講演や留学体験談を、また海外協定校から本学に受け入れている交換留学生や、その大学へ留学した経験を持つ京都大学生による協定校紹介を行っています。所属部局の掲示板や京都大学HPで説明会情報をチェックして、是非気軽に参加してください。(京都大学国際交流センター HP掲載URL)  
<http://www.ryugaku.kyoto-u.ac.jp/studyabroad/susume/>

### 大学間学生交流協定による短期留学プログラム派遣実績一覧(平成25年度)

国・地域	大学名	人数
大韓民国	慶北大学校	6
	延世大学校	15
台湾	国立台湾大学	5
中華人民共和国	西安交通大学	13
	浙江大学	11
	香港中文大学	7
計(3カ国・地域)	6大学	57

### 「留学のススメ」開催実績(平成25年度)

日程	概要
4月	国際交流センター新入生説明会(全4回)、1回生のための交換留学説明会
5月	International Week ①大学院留学～留学生生活編～②大学院留学～留学準備編～ ③交換留学④語学研修⑤海外インターンシップ
6月	短期留学プログラム説明会、先輩体験談(全4回)、海外協定校紹介(第1弾・3校)、アジア留学説明会
7月	海外渡航安全説明会
10月	海外インターンシップ説明会(全2回)
11月	St.Gallen Symposium説明会、TOEFL対策講座(全2回)
12月	スペイン留学説明会、海外協定校紹介(第2弾・3校)
2014年1月	短期留学プログラム説明会

その他、学部・研究科独自の学生交流協定に基づく留学、個人手続きによる短期語学研修、大学院生を中心とした調査等の海外渡航が京都大学生により行われています。





数理解析研究所

# 大学院進学

学部教育で身につけた知識や技術をより深め、次世代を担う研究者・実務者をめざす。



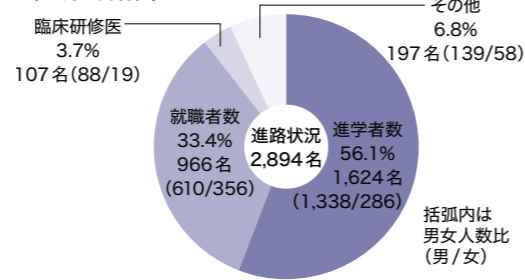
土木工学教室

京都大学の卒業生には、伝統ある「自由の学風」の中で培われた知性・感性・倫理性といった力を、社会における様々な分野の中でさらに磨きつつ、活かして行くことが期待されています。学部卒業後の進路としては就職が大学院進学が考えられますが、いずれの進路を選ばせよ、京都大学は、皆さんが誇りある京都大学卒業生として、社会に貢献できるような道を進めよう、サポートします。

大学院進学者は、全国的に増加傾向にあります。とりわけ京都大学は、大学院を充実させた研究型大学の特徴として、平成26年(2014)3月に学部を卒業した2,894名のうち、約56%が大学院に進学しました。

各部卒業後に就職の道へ進んだのは、約33%です。その就職先は、後のページに挙げるように、多種多様な職種へと進み、大学で学んできた知識と技能を活かしています。

平成25年度卒業者の進路状況  
(平成26年5月1日現在)



## 学部を持つ大学院

京都大学の10の学部は、それぞれが大学院を備えています。正確に言えば、大学院重点化が行われた現在は、大学院が主たる組織であり、そこが学部教育も提供しているという形になります。学部とつながる大学院は、総合人間学部と統合した人間・環境学研究所、文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科です。それぞれが、学士課程(学部)の教育と連続した、高度な研究と教育をおこなっています。詳しくは、各学部の紹介のページを参照してください。

## 独立研究科

京都大学には学部を持たない大学院課程、すなわち独立研究科が6つあります。エネルギー科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、情報学研究科、生命科学研究所、総合生存学館(思修館)、地球環境学舎がそれにあたります。いずれの研究科においても、多様な学部の卒業生を受け入れ、複合的学域の創出・深化に携わる研究者や実務家の養成を主眼にした大学院教育の体系化をめざしています。

## 専門職大学院

研究者養成に主眼をおいていた従来の修士課程とは異なり、高度で専門的な職業能力をもった実務家を養成するための新しい形の大学院です。現場で活躍する各分野のスペシャリスト等も専任教員として招き、現場の複雑な問題を解決するための知識と技能の獲得をめざした教育をおこなっています。京都大学では、医学研究科社会健康医学系専攻、法学研究科法曹養成専攻(法科大学院)、公共政策大学院、経営管理大学院の4つの専門職大学院が開設されています。

## 博士課程教育リーディングプログラム

文部科学省によるこの事業は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたるグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

京都大学では、平成25年度までに「京都大学大学院思修館」、「グローバル生存学大学院連携プログラム」、「充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム」、「デザイン学大学院連携プログラム」、「豊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」の5つのプログラムが採択されています。

## 大学院 総合生存学館(思修館)

京都大学は、地球社会の課題を総合的に分析し、解決に導くための方法論や思想、政策などを幅広く探究する学問である「総合生存学」の発展を通じて、次代を担うグローバルリーダー人材を育成する大学院「総合生存学館(思修館)」を平成25年4月に開設しました。

総合生存学館(思修館)は、博士課程教育リーディングプログラム(オールラウンド型)「京都大学大学院思修館」プログラムを実践する新大学院であり、「テラーメイド型カリキュラム」・「研修施設の利用による対話とディベートによる熟議、海外フィールドワークやPBR(発展型PBL)などの実践型教育カリキュラム」・「複数指導教員制度・メンター制」の特徴を有した5年一貫制の博士課程です。

大学院への進学  
(●印は主な出身学部を紹介しています。)

	総合人間学部	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部
<b>文学研究科</b> 文献文化学専攻 思想文化学専攻 歴史文化学専攻 行動文化学専攻 現代文化学専攻	●	●	●							
<b>教育学研究科</b> 教育科学専攻 臨床教育学専攻	●	●	●							
<b>法学研究科</b> 法政理論専攻 法曹養成専攻(法科大学院)	●	●		●						
<b>経済学研究科</b> 経済学専攻					●	●				
<b>理学研究科</b> 数学・数理解析専攻 物理学・宇宙物理学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻 生物科学専攻	●					●				●
<b>医学研究科</b> 医学専攻 医科学専攻 社会健康医学系専攻 人間健康科学系専攻	●						●			
<b>薬学研究科</b> 薬科学専攻 薬学専攻 医薬創成情報科学専攻								●		
<b>工学研究科</b> 社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻 都市環境工学専攻 建築学専攻 機械理工学専攻 マイクロエンジニアリング専攻 航空宇宙工学専攻 原子核工学専攻 材料工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 材料化学専攻 物質エネルギー化学専攻 分子工学専攻 高分子化学専攻 合成・生物化学専攻 化学工学専攻	●								●	
<b>農学研究科</b> 農学専攻 森林科学専攻 応用生命科学専攻 応用生物科学専攻 地域環境科学専攻 生物資源経済学専攻 食品生物科学専攻	●						●			●
<b>人間・環境学研究所</b> 共生人間学専攻 共生文明学専攻 相関環境学専攻	●	●				●				
<b>エネルギー科学研究科</b> エネルギー社会・環境科学専攻 エネルギー基礎科学専攻 エネルギー変換科学専攻 エネルギー応用科学専攻	●					●			●	●
<b>アジア・アフリカ地域研究研究科</b> 東南アジア地域研究専攻 アフリカ地域研究専攻 グローバル地域研究専攻	●					●				●
<b>情報学研究科</b> 知能情報学専攻 社会情報学専攻 複雑系科学専攻 数理工学専攻 システム科学専攻 通信情報システム専攻	●					●			●	
<b>生命科学研究所</b> 統合生命科学専攻 高次生命科学専攻	●					●		●		●
<b>総合生存学館(思修館)</b> 総合生存学専攻			●	●	●	●		●	●	
<b>地球環境学舎</b> 地球環境学専攻 環境マネジメント専攻	●	●							●	●
<b>公共政策大学院</b>				●	●					
<b>経営管理大学院</b>	●				●	●			●	





さらなる飛躍を支援  
Support for Career Development

# 就職支援

社会のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献するために。  
豊かな人生をおくるために。

## 学生総合支援センター キャリアサポートルーム

社会に出る第一歩である就職活動で、苦戦を強いられる学生が多いのは京都大学でも例外ではありません。企業や官公庁等は優秀で、やる気のある人材を切に求めています。優秀な人材に複数の内定が出る一方で、全く結果が出ない人もいるなど二極化が進んでいます。学生側の就職に対する志望は多様化しており、学生がいかに自分の能力や経験を活かせる就職先を見つけることができるのかと、企業側の求める人材とのマッチングを図ることが大切になってきています。一方、大学院進学率の高い本学では、学生自身が将来の進路、職業、自分の進むべき道について、早い時期から考えていくことが充実した学生生活を送るうえで重要です。

キャリアサポートルームでは、学生の就職活動を支援するため、各種就職関連ガイダンスや就職相談の実施に加え、「各種企業資料・会社案内(パンフレット)」「求人情報」「OB・OG名簿」「就職関連書籍・DVD」「企業主催のセミナー・説明会開催情報」および「インターンシップ募集情報」の収集・閲覧、メールマガジンの配信、求人票検索システムの運用、ガイダンスの動画配信等を行っています。就職関連書籍・DVDについては貸し出しも可能です。

就職活動でもインターネットの活用が不可欠なため、キャリアサポートルームでは就職情報検索用のパソコンを設置し、学生が利用できる環境を整えています。

キャリアサポートルームは時計台のある吉田キャンパスの他に、宇治キャンパスおよび桂キャンパスにもサテライト(分室)を開設しています。

### ● ガイダンス等の開催

就職活動の概要を紹介する「就職ガイダンス」、OB・OGを含む企業や官公庁等で活躍する方々を招いて業界や職種等について今後のキャリアのあり方を学べる「キャリア研究セミナー」の実施のほか、少人数を対象とした自己分析講座、ビジネスマナー講座、個人又は少人数を対象としたエントリーシート指導、模擬面接などを実施しています。

「キャリアデザイン講座」として、学部1・2回生を対象とした将来のキャリアを考えるための講座、将来研究者を目指す人たちのための講演会などを実施しています。

※昨年度開催のガイダンス等一覧は表を参照してください。

### ● 就職相談室の開設

就職情報企業から就職指導の専門家を相談員として招き、就職・進路にかかわる様々な相談に対応しています(予約制)。専門的立場から適切なアドバイスを行っており、学生のみなさんは、気軽にご利用いただけます。

## インターンシップ

—実社会体験を学びに活かす—

インターンシップは、学生が在学中に企業・団体等の現場において実社会が体験できる貴重な機会です。本学では、就業体験を通してキャリア形成を考える在学生に対して、多様なインターンシップについての情報提供を行っています。さらに、国内の国公立・民間研究機関、地方公共企業体や民間企業等における現場での貴重な経験を、大学における学びに活かせるようサポートしています。毎年多くの在学生がインターンシップを体験しています。近年は、外国の研究機関や企業におけるインターンシップに積極的に参加する在学生も増えています。本学では、このような学外でのインターンシップを授業に採用し、学外の国公立・民間機関等で行った就業体験を単位として認定する制度を取り入れている学部(学科)や研究科もあります。

## 海外インターンシップ

グローバル化が進み、国際的な視野やコミュニケーション能力を身に付けることのできる海外インターンシップへの関心が高まっています。

海外インターンシップ体験を希望する学生を支援するため、京都大学内においては、京都大学アイエスエテ学内委員会、アイセック京都大学委員会の2つの学生運営委員会が自主活動しています。これらを通して、外国の研究機関や企業における研修に積極的に参加している学生もいます。

平成25年度就職関連ガイダンス等  
実施実績について (平成26年4月1日付)

行事名	実施回数等
キャリアデザイン講座	全5回
公務員関係ガイダンス・模擬面接等	全14回
インターンシップガイダンス	1回
就職ガイダンス	全5回
SPI・診断テスト	各4回
就職セミナー	全21回
ホームカミングデーOB・OG交流会	1回
業界研究セミナー	全4回
世界に飛躍する京大生のためのキャリア形成セミナー	全3回
合同企業説明会	全7回
内定者による相談会	全6日
就職相談	計225日
博士・ポスドク対象セミナー	全3回

## 卒業生の産業別就職状況について

平成25年度卒業生の産業別就職状況(平成26年5月1日現在)

産 業	学 部		文 学 部		教 育 学 部		法 学 部		経 済 学 部		理 学 部		医 学 部		薬 学 部		工 学 部		農 学 部		男 子 計	女 子 計	総 合 計									
	学 部 総合人間		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
	男	女																														
農業・林業							1															1		1								
漁業																																
鉱業・採石業・砂利採取業																																
建設業	1		1				1		2	1							4					9	1	10								
製 造 業	食料品・飲料・たばこ・飼料	1	2	2	3		1	2	3	4	1						2		1	2	12	12	24									
	繊維工業									2								1			3		3									
	印刷・同関連業	1	2																		1	2	3									
	化学工業・石油・石炭製品	2	1	2		1		5		8	1				1	10	3	1	1		23	13	36									
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	1	4			3	3	4	8	2	1						5				21	10	31									
	はん用・生産用・業務用機械器具	1		1				1	1	2	1						6	1	1		10	5	15									
	電子部品・デバイス・電子回路			1	1									2			1				2	3	5									
	電気・情報通信機械器具	2	1	1				6	8	10	2						1	2	2	2	20	17	37									
	輸送用機械器具	2		1	1			4		6	3	1					7	1			21	5	26									
その他	1		1	1			2	1	3	1										7	3	10										
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1	1	3	2		4	3	5	1	1	2				1	1	1	1	17	12	29										
情報通信業	6	6	18	10	1	1	16	6	20	3	6		1	3	2	11		3	1	84	30	114										
運輸業・郵便業	1		2	3	3		9	3	14	1	1		1	1		1	1	2		34	9	43										
卸 売 業・ 小 売 業	卸売業	5	3	2	1	1		10	2	16	2				1		9	1	5	1	49	10	59									
	小売業	1		1				2		1	1				1		2		1	2	8	5	13									
金 融 業・ 保 険 業	金融業	2	5	6	7	1	2	26	12	41	11	5				3		6	3	90	40	130										
	保険業			2	5	1		5	3	12	1	2				1		1		24	9	33										
不動産業・ 物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業							4		4						1				9		9										
	物品賃貸業																															
学術研究・ 専門・技術 サービス業	学術・開発研究機関								1												1		1									
	法務																															
	その他の専門・技術サービス業	3	4					5	1	13	2	1				1	1	6	2	5	4	34	14	48								
宿泊業・飲食サービス業				1			1	2											1		2	3	5									
生活関連サービス業・娯楽業	1	2		1				1	3	2	1										5	6	11									
教育・ 学習支援業	学校教育			5	4	2	2	1	2	2	6					2		1		19	8	27										
	その他の教育・学習支援業	1		1	5	3	2	1	2			2		2		1				9	11	20										
医療・福祉	医療業・保健衛生			1					1				7	68	1	3				1	10	72	82									
	社会保険・社会福祉介護事業	1											1	1							2	1	3									
複合サービス事業	2	1	1					3	1									3		7	4	11										
サービ 業	宗教													1								1	1									
	その他のサービス業			2	2				7		1			1				2			13	3	16									
公 務	国家公務	2		2	2	1	1	10	12	4	3	1				7		1	1	28	19	47										
	地方公務	1	3	4	6	1	3	12	9	7	2	1				1	3	1	3	3	32	28	60									
上記以外			1								2										3		3									
	総 合 計	69		121		33		202		244		35		89		23		88		62		610	356	966								
	男 子 計		34		35		62		59		18		15		129		73		200		44		31	4	10	79	8	15	77	11	41	21